

CASE 09

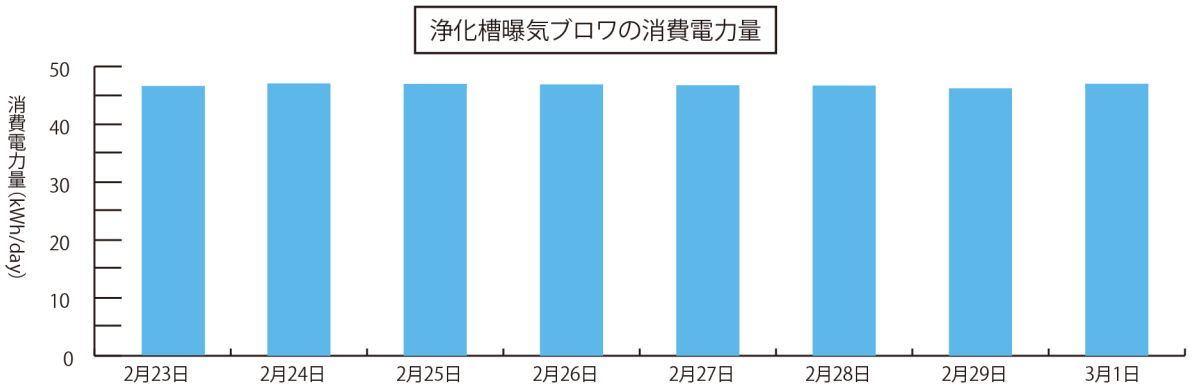
業種: 福祉 従業員数: 80名
 診断対象施設の用途: 介護老人保健施設
 年間エネルギー使用状況: (原油換算: 208kL/年)
 ※省エネ診断時に提出のあった資料に基づく

省エネ診断					実施の有無	実施結果		
提案内容	エネルギー種別	エネルギー削減効果		CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /年)		エネルギー削減効果		CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /年)
		削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)			削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)	
① 浄化槽曝気ブロワの夜間間欠運転	電力	105	1.24	2.85	×	-	-	-
② ボイラ室バルブ類の保温	LPG	339	1.91	4.38	×	-	-	-



浄化槽の曝気ブロワは24時間連続運転だが、既存の24hタイマーを活用して夜間間欠運転をするという提案をした。
 しかし、過去の経緯から間欠運転するには懸念があると管理業者の見解から、本提案は実施を見送るということになった。実施を見越して使用電力量の計測器を設置したので、その結果を下記グラフに示した。

提案①について、電力使用量を測定し、省エネ前後のエネルギー使用量の変化を調べた。



仮に提案を実施できれば、94千円/年の削減効果が試算された!

